

発行所  
長野県保険医協会  
〒380-0928 長野市若里 1-5-26  
電話 026-226-0086  
FAX 026-226-8698  
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp  
年間購読料 3,600円  
会員の購読料は会費に含まれています



2018年（平成30年）8月25日  
No.450（毎月1回25日発行）  
（1990年6月22日第三種郵便物認可）  
**主な記事**  
関東甲信越ブロック厚労省懇談…2面、北信越ブロック会議…3面、医科診療報酬改定アンケート…4面、共済特集…5面、保険かわら版/理事会便り…6面

## 新人金井氏を破り 長野県知事に阿部守一氏が3選

任期満了に伴う第20回長野県知事選は8月5日に投開票が行われ、現職の阿部守一氏が63万票余を獲得、無所属新人で元上田市議の金井忠一氏に52万票余の大差をつけて当選した。3選目となる。今回の選挙では、阿部県政2期8年の評価、人口減少下の県政の針路などが問われた。投票率は43.28%で、過去最低となった。

阿部氏は「地域医療体制の強化」などを含む県の「総合5か年計画」の推進、「子どもや若者が希望を持てる県」「安心して暮らし続けられる県」「産業

の振興」とする「三つの方向性」を強調。医療・福祉や地域公共交通の充実、産業振興などを訴えた。一方、金井氏は「明るい県政をつくる会」の支援を受けて立候補し、「大型公共事業ではなく県民の切実な要望を優先する」「オール与党態勢の県政を変える」「国の悪政に物を言う」とした「三つの県政の転換」を訴えた。

**候補者アンケートを実施**  
保険医協会は7月に両候補者に対し長野県の医療や福祉政策に関するアンケートを行い、各項目の選択肢に回答

## 「クイズで考える私たちの医療」ならびに「みんなでストップ！患者負担増」署名のご活用を

待ち時間を楽しく  
**好評のクイズチラシ**  
保険医協会は9月より、昨年に引き続き待合室キャンペーンとして「クイズで考える私たちの医療」を料金受取人払いで実施する。締め切りは2018年1月15日（当日消印有効）。チラシタイプとポケットティッシュタイプの2種類で、医療・福祉に関する3問のクイズに答え、ハガキ部分を切り取ってそのままポストに投函できる。切手等の貼付は不要。1等は「ダイソン ハンディクリーナー」（15本）、2等は復興支援カタログギフト（200本）、3等はオ



リジナルクオカード1,000円分（300本）、4等はオリジナルキャラクタータオル（500本）。昨年度実施された同キャンペーンでは、県内から2等と3等が複数名当選した。

**負担増反対署名も同時に実施**  
待合室キャンペーンと同時に75歳以上の窓口負担を1割から2割とする負担増計画に反対する「みんなでストップ！患者負担増」署名も9月から開始する。診察室で患者さんに手渡すなど、積極的なご活用をお願いしたい。ポケットティッシュは100個入り500円から。ご注文は保険医協会事務局まで。

を求めるとともに、その理由等についても意見の記載を求めた。

阿部氏は、地域医療構想の実現のための都道府県知事の権限行使についての質問では、「必要があれば行使する」と回答。また、福祉医療給付事業における1レセプト500円の受給者負担金を廃止するか否かについての質問では、「単なる自己負担金の廃止は、所

得の高い世帯を含め広く県民の税金で負担することとなり、慎重に考えなければなりません」と回答した。

アンケート結果は協会会員に配布済み。質問項目とその回答は、保険医協会ホームページで閲覧可能。

長野県保険医協会では阿部知事に対して本アンケートへの回答などをもとに、要望懇談を行う予定。

**歯科施設基準対応研修会を開催**  
7月22日と29日、歯科初診料の注1に係る院内感染防止対策研修会および歯科外来診療環境体制加算対応研修会が開催された。22日は長野バスターミナル会館、29日は松本市駅前会館で開催し、両会場あわせて94医療機関122名（他県協会の会員含む）が参加し、いずれの会場も満席となった。

講師は、前日本大学歯学部附属歯科病院歯科麻酔科科長の見崎徹氏。「院内感染防止対策」「偶発症に対する緊急時の対応」「医療事故対策」の3分野について講演いただいた。



満席となった松本会場（7月29日）

「院内感染防止対策」については、日常の歯科診療においては唾液や血液に触れる機会が多いため手指に目に見える汚れがなくとも唾液などが付着している可能性があり、また、歯科治療後にグローブを外す際に表面に触れてしまうと、手指や周囲環境にそれらの汚れを付着させる可能性がある指摘したほか、日頃から行うべき感染対策について解説した。「偶発症に対する緊急時の対応」「医療事故対策」につ

いては、患者の安全を確保し、緊急時の対応を適切に行うために備えているべき歯科医院の条件として、「適切な生体情報モニタが備えられている」「モニターや救急用品、救急薬剤の管理が行き届き、使用法に習熟している」などが示された。参加者からは「勉強になった」「安全な治療に向かいこれからも努力したい」といった感想が寄せられた。

**届出は9月末までに**  
初診料の注1（様式2の6）および外来環の施設基準の届出は9月末までに行う。未届の場合は10月から初再診料が減算となるため注意されたい。外来環は2018年3月末までに届出を行っている場合でも、再届出が必要。また、外来環の届出にあたっては、初診料の施設基準の届出が要件となる。初診料と外来環を同時に届け出る場合は、外来環の届出用紙にある「歯初診の届出受理番号」欄に「届出中」と記入する。なお、初診料の注1における院内感染防止対策の研修に係る届出（様式2の8）については、経過措置として今年度末まで要件を満たすものとして取り扱われるため、2019年3月末までに研修を修了し、届出を行う。

## 鶏声

「出来るだけ家で介護を」という方向性は間違っていないと思うが、家で親の介護が出来ないのでは多いのだから、NHKスペシャル「ミッシング・ワーカー」を見た。ミッシング・ワーカーとは、無職で、かつ求職活動をしていない人のこと。失業者とは職を探している人なので、ミッシング・ワーカーは雇用統計の失業者数には含まれない。その数103万人と推計されるという。◆親の介護のために離職し、仕事をしない空白の期間が長くなり再就職が難しくなってしまう人、非正規労働で転職を繰り返すうちに転職がうまく出来なくなってしまう人たちを取材した番組です。皆それぞれに誠実に生きてきた方たちで、誠実すぎて社会性にはやや欠けるところがあり、人に相談することが出来なかったのかもしれないとも思いました。◆問題は、全員独身、一人で全てを背負うことになり介護が大変で必要な収入を得ることが出来なくなってしまうことです。高齢の親の介護を始めるのは中高年になってから、介護する人も歳をとっていくし、いつまで続くのかわかりません。◆介護が必要な高齢者は増加し、少子化で介護職に就く人は減っていくと予測されています。なぜこのよ